

淀川通信

令和7年9月29日

9月号

大阪市立淀川中学校

ようやく秋めいてきました

まだまだ日中は30度を超える日もありますが、酷暑もようやく峠を過ぎたようで、朝晩はめっきり秋らしい涼しい空気が感じられるようになってきました。

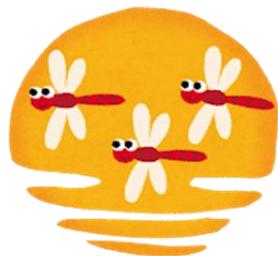


23日は「秋分の日」でした。全校集会で、この祝日はハッピーマンデーとして移動させることができないというお話をしましたが、なぜだか調べてみましたか？ 「秋分の日」は太陽が秋分点（天の赤道を北から南へ横切る点）を通過する日と決められていますので、毎年9月23日前後となっています。これを「連休にしたい！」からといって、勝手に移動させることはできないのだそうです。

「秋分の日」は国民の祝日として「祖先を敬い、亡くなった人々を偲ぶ」ことを目的としています。この日は太陽が真西に沈み、古来から仏教では極楽浄土（彼岸）は西方にあるということに由来していると言われています。この日を中心とした一週間は、「秋のお彼岸」と呼ばれます。この期間にお墓参りをするご家庭もあるのではないかと思います。命のつながりを意識する大切な時間にしてほしいと思います。

昔から「暑さ寒さも彼岸まで」といわれていましたが、この時期はちょうど季節の変わり目でもあります。自然のリズムに耳を傾けながら、自分自身の生活や心の在り方を見つめなおす。そんな時間を持つことで、より豊かな日々を過ごすことができるはずです。

学校生活でも、後期への準備が始まる時期です。先日、次期生徒会役員選挙が行われました。新たな淀川中学校に向けてのスタートです。頑張っていきましょう。



「学びルーム」について



22日の全校集会でSSR（スペシャルサポートルーム）支援員の浅田さんから、本校の学びルームについて説明がありました。また、配布した説明プリントはホームページにも掲載しています。

もし、「学校に行くのがちょっとしんどい・・・」「教室に入るのが不安・・・」といった気持ちになることがあったら、安心して過ごせる場所として学びルームがあるので、まずは担任や学年の先生に相談してくださいね。